

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年2月26日(2025.2.26)

【国際公開番号】WO2023/243201

【出願番号】特願2024-528330(P2024-528330)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/158(2006.01)

A 6 1 M 5/142(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/158500N

A 6 1 M 5/142522

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年6月27日(2024.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体の皮膚に接触する接触面を有したハウジングと、

前記皮膚に接触する当接面を有し、前記ハウジングに移動可能に設けられ、前記接触面から前記当接面が突出可能な当接部材と、

穿刺針を有し、前記当接部材に対して相対移動可能であり、且つ前記穿刺針が前記当接面から前記皮膚に向けて突出可能な針部材と、

を備え、

前記ハウジングが前記皮膚に接触した状態で、前記ハウジングと、前記皮膚のうち前記当接面に対向する部分との相対位置が変化した際に、前記当接面と前記皮膚との接触を維持するように前記当接部材が前記ハウジングに対して相対移動する、穿刺装置。

30

【請求項2】

請求項1記載の穿刺装置において、

前記ハウジングの内部に設けられ、前記皮膚に向けて前記当接部材を付勢する追従用付勢部材を備える、穿刺装置。

【請求項3】

請求項1又は2記載の穿刺装置において、

前記当接部材は、前記当接部材の前記当接面が前記皮膚に接触していないときに前記ハウジングの前記接触面から突出した突出部を有し、前記突出部が前記当接面を有し、前記ハウジングの前記接触面が前記皮膚に接触する際、前記当接部材が前記皮膚に押されることで前記突出部が前記ハウジングの内部に収容される、穿刺装置。

40

【請求項4】

請求項1又は2記載の穿刺装置において、

前記ハウジングの内部に設けられ、前記皮膚に向けて前記針部材を付勢する穿刺用付勢部材を備える、穿刺装置。

【請求項5】

請求項4記載の穿刺装置において、

前記当接部材の前記当接面に対して前記針部材を前記皮膚に向けて突出させる穿刺機構を備え、

前記穿刺機構は、前記穿刺針の穿刺方向に対して傾斜した第1傾斜部を有し、前記ハウ

50

ジングに対して前記穿刺方向に移動可能なプッシャと、

前記穿刺用付勢部材と、

前記針部材に設けられ前記穿刺方向に対して傾斜して前記第 1 傾斜部が当接する第 2 傾斜部と、

を備え、

前記プッシャが前記穿刺方向に移動することで、前記第 1 傾斜部及び前記第 2 傾斜部を介して、前記穿刺方向に沿った軸線を中心に前記針部材が第 1 位置から第 2 位置へと回転し、

前記針部材は、前記第 2 位置に到達した際、前記穿刺用付勢部材の付勢力によって前記穿刺方向に移動する、穿刺装置。

10

【請求項 6】

請求項 4 記載の穿刺装置において、

前記針部材は、前記穿刺針を保持する針ハブを備え、

前記当接部材と前記針ハブとの間に前記穿刺用付勢部材が配置される、穿刺装置。

【請求項 7】

請求項 1 又は 2 記載の穿刺装置において、

前記針部材に接続され、前記針部材に薬液を送液するための可撓性を有するチューブを備え、

前記チューブは、撓んだ状態で前記ハウジング内に収容され、

前記ハウジングに対する前記針部材の変位に伴って前記チューブが変形する、穿刺装置

20

。

【請求項 8】

請求項 1 又は 2 記載の穿刺装置と、

薬液が充填され前記穿刺装置の前記針部材と接続され、前記薬液を前記穿刺針へ送出するプレフィルドシリンジと、
を備える、薬液投与装置。

30

40

50